

セクション 1: 化学品及び会社情報

ラベルに使用される製品の識別子

製品名

RTC-2 Epoxy Part A

他の識別手段

化学物質名

Bisphenol A Diglycidyl Ether

CAS 番号

25085-99-8

EINECS 番号

607-537-5

化学品の推奨用途と使用上の制限

推奨用途

PC14 金属表面処理用製品（電気めっき用製品を含む）

使用上の制限

上記以外のもの。

安全性データシート供給者の詳細

供給者の詳細

VISHAY MEASUREMENTS GROUP UK LTD

納入業者の住所

Stroudley Road

Basingstoke

Hampshire

RG24 8FW

イギリス

電話

+44 (0) 1256 462131

F a x

+44 (0) 1256 471441

E メール(担当者)

mm.uk@vishaypg.com

緊急電話番号

(00-1) 703-527-3887

CHEMTREC (24 時間)

緊急連絡用電話の番号

セクション 2: 危険有害性の要約

危険有害性の概要

製品の取り扱い: 皮膚および目との接触を避ける。無色または黄色の液体。皮膚と目を刺激することがある。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。繰り返し接触すると感作やアレルギー性皮膚炎を引き起こす可能性があります。有害重合 500 グラム以上の多量の製品に脂肪酸アミンを加えると、大量の発熱を伴って非可逆的の重合が起こります（自然には発生しません）。

GHS の分類 JIS Z 7252: 2014

物理的な危険性

割り当てられていない。

健康に対する有害性

Skin Irrit. 2; H315

Skin Sens. 1; H317

環境に対する危険

Eye Irrit. 2; H319

Aquatic Chronic 2; H411

GHS ラベル要素

危険性を表す絵文字



注意喚起語

警告

危険有害性情報

H315: 膚刺激性。

H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

<p>危険有害性情報</p> <p>安全対策</p> <p>応急処置</p> <p>保管</p> <p>他の危険有害性</p>	<p>H319: 強い眼刺激。</p> <p>H411: 長期継続的影響により水生生物に毒性。</p> <p>P273: 環境中への放出を避ける。</p> <p>P280: 保護手袋/保護服/保護眼鏡/保護面を着用する。</p> <p>P302+P352: 皮膚に触れた場合: ・<...>/よく手を洗うこと。</p> <p>P305+P351+P338: 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。</p> <p>P337+P313: 眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。</p> <p>P391: 漏出物を回収する。</p> <p>割り当てられていない。</p> <p>知られていない。</p>
---	---

セクション 3: 組成/成分情報

物質

物質の化学的特定名	%W/W	CAS 番号	化審法 官報公示番号 [^]
Bisphenol A Diglycidyl Ether	100	25085-99-8	割り当てられていない。

[^]化学物質の審査及び製造等の規則に関する法律

当製品の分類に影響を与えるであろう他の成分または不純物はありません

セクション 4: 応急処置



応急処置の説明

<p>吸入</p> <p>皮膚接触</p> <p>目の接触</p> <p>摂取</p> <p>最も重要な症状および作用 (急性および遅発性) 医師の手当てと特別な処置が直ちに必要状態</p>	<p>吸い込んだ場合: 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすいよう安静にすること。症状が現れたら、医師の治療を受ける。</p> <p>皮膚に付着した場合: 汚染された衣服を直ちに脱いで、接触した皮膚部位を石鹸と水で洗う。再使用する前に汚染された衣類を洗濯する。刺激があらわれ続いた場合、医師の手当てを受けること。</p> <p>目に入った場合: 水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを使用している場合は最初の 5 分間経過後に取り外し、その後も洗眼を続けること。眼の刺激があらわれたり続く場合、医師の手当てを受けること。</p> <p>予想外の暴露経路。飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。症状が現れたら、医師の治療を受ける。</p> <p>目と皮膚を刺激する。皮膚接触により感作を引き起こすことがある。症状によって処置する。</p>
---	---

セクション 5: 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

不適切な消火剤

当該物質または混合物に起因する特別な危険性

炭酸ガス、粉末または泡消火器、水噴霧で消火する。

ウォータージェットを使用しない。

可燃性/引火性はありません。火災の時分解されて、有毒な煙を発生することがある。エポキシ樹脂は解放現象、一酸化炭素、および水を放出します。

消火作業者の特別な保護具と予防措置

消火作業員は自給式呼吸器を含む完全な保護服を着用すること。フュームを吸入してはならない。火災の場合、容器に水を噴霧して冷却する。水路や下水への混入を避けること。

セクション 6: 漏出時の措置**人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置**

適切な換気を確保する。本品の加熱時に発生するフュームや蒸気を吸わないこと。安全に対処できるならば漏洩をとめる。必要な個人用保護具を使用する。次の項を参照: 8. 蒸気の吸入を避ける。皮膚および目との接触を避ける。

環境的予防措置

環境に排出しないようにする。排水路、下水道または水路に入らないようにする。

封じ込めと清掃のための方法および資材

流出物を閉じこめる。流出物を砂、土または適切な吸収剤に吸収させる。廃棄用の容器に移す。この素材と容器は、危険廃棄物として廃棄すること。樹脂の残渣は、蒸気または高温の石けん水を用いて除去することができます。

セクション 7: 取扱いおよび保管上の注意**安全な取り扱いのための注意事項**

作業員は被曝を最小限にするように訓練されていることを確認します。適切な換気を確保する。本品の加熱時に発生するフュームや蒸気を吸わないこと。蒸気の吸入を避ける。換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。保護手袋/保護服/保護眼鏡/保護面を着用する。皮膚および目との接触を避ける。本製品を取り扱っているときに、飲食、喫煙を行ってはならない。他の容器に移し替えてはならない。容器を密閉し、換気のよい場所に保管する。裸火または高温のものから遠ざける。

安全な貯蔵のための条件（不適合条件を含む）

常温の。
知られていない。

保管温度

混触危険物質

セクション 8: 暴露防止及び保護措置**職業暴露限度**

確立されていない。

生物学的暴露指標

確立されていない。

PNEC および DNEL

確立されていない。

適切な工学的管理

作業員は被曝を最小限にするように訓練されていることを確認します。適切な換気を確保する。

個人用保護具（PPE）などの個人保護措置

化学物質取り扱いのための一般的な衛生手段が適用できる。高い産業衛生水準を維持します。皮膚および目との接触を避ける。本品の加熱時に発生するフュームや蒸気を吸わないこと。蒸気の吸入を避ける。休憩前及び作業後には手を洗うこと。作業着は分けて保管すること。作業場所では飲食、喫煙を行ってはならない。暴露した場合：皮膚に触れたり眼に入った場合は真水で流すこと。

目/顔面の保護

液体の飛沫から保護するため保護めがねを着用すること。側板付き保護めがね（EN166）を着用すること。

皮膚の保護

許容される透過試験による頻繁な作業や長期間の作業に適した耐薬品性保護手袋を着用します。汚染された手袋は、再使用する前に慎重に水ですすいでください。手袋素材の浸透時間：手袋メーカーの情報を参照。



呼吸器の保護

通常、呼吸用保護具は必要ない。換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。



特定の条件に起因する危険性に対する特別な注意事項

知られていない。

セクション 9: 物理的および化学的性質

基本的な物理化学的特性についての情報

外観	無色または黄色の液体。
におい	弱い。エヤルシ樹脂におい
臭いの閾値	資料なし。
pH	確立されていない。
融点/凝固点	確立されていない。
初留点と沸騰範囲	該当なし。
引火点	252°C (方法: PMCC)
蒸発速度	知られていない。
燃焼性 (固体、ガス)	該当なし。
上限/下限可燃性または爆発限界	該当なし。
蒸気圧	該当なし。
蒸気密度	該当なし。
相対密度	1.16 (H ₂ O=1)
溶解度	水に不溶。
分配係数: n-オクタノール/水	資料なし。
自然発火温度	資料なし。
分解温度	資料なし。
粘度	資料なし。

セクション 10: 安定性および反応性

反応性	普通の状態安定。
化学的安定性	普通の状態安定。
危険な反応の可能性	フェノ<距<, 一酸化炭素と水。
避けるべき条件	臨界温度 > 300°C. 次の値(°C)を超える温度で分解する: 350. 分解時にガスが発生すると密閉系で圧力を生じる可能性があります。圧力が急速に上昇する可能性があります。
混触危険物質	アルカリ類。(強塩基). 酸類。アミンと酸化剤類。
危険有害性分解生成物	500 グラム以上の多量の製品に脂肪酸アミンを加えると、大量の発熱を伴って非可逆的重合が起こります(自然には発生しません)。

セクション 11: 有害性情報

毒性に関する情報

急性毒性 - 摂取

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

急性毒性推定混合計算: 推定 LC50 > 2000 mg/kg 体重/日。

急性毒性 - 吸入

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

急性毒性推定混合計算: 推定 LC50 > 20.0 mg/l。

改訂: 1.0 日付: 10 5 月 2017

以下に準拠 JIS Z 7253: 2012

www.vishaypg.com

急性毒性 - 皮膚接触	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 急性毒性推定混合計算: 推定 LC50 > 2000 mg/kg 体重/日。
皮膚腐食性/刺激性	Skin Irrit. 2; 膚刺激性。 テスト結果: 皮膚を刺激する。(Jolanki R et al, 1986)
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	Eye Irrit. 2; 重大な目への刺激を引き起こす。 テスト結果: 重大な目への刺激を引き起こす。(EPA/OTS; Doc #878212416)
呼吸器感受性又は皮膚感受性	Skin Sens. 1; アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 テスト結果: モルモットを用いた研究で皮膚感受性が報告されている。(EPA/OTS; Doc #878212421)
生殖細胞変異原性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
発がん性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
生殖毒性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
特定標的臓器への毒性 (単回暴露)	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
特定標的臓器への毒性 (反復暴露)	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
吸引性呼吸器有害性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

セクション 12: 環境影響情報

毒性	Aquatic Chronic 2; 長期継続的影響により水生生物に毒性。 推定 混合物。LC50 > 1 - ≤ 10 mg/l (魚類)
残留性および分解性	容易に生分解される。
生物蓄積性	この製品は生物濃縮の可能性が低い。
土壤中の移動度	製品は土壤中で移動性が低いと予想される。
オヤ洵 w に対する有害な影響	知られていない。
その他の有害な作用	知られていない。

セクション 13: 廃棄上の注意

廃棄物処理法	この材料とその容器を有害廃棄物として処分します。法律に従い、前処理後にし かかるべき危険廃棄物焼却施設に送ること。
追加情報	内容物を国、都道府県、市町村の法規に従って廃棄する。

セクション 14: 輸送上の注意

国連番号	ADR/RID	IMDG	IATA/ICAO
UN 適切な船積み名	UN 3077	UN 3077	UN 3077
輸送危険分類	環境的に有害な物質、液 体、N. O. S. (BISPHENOL A DIGLYCIDYL ETHER)	環境的に有害な物質、液 体、N. O. S. (BISPHENOL A DIGLYCIDYL ETHER)	環境的に有害な物質、液 体、N. O. S. (BISPHENOL A DIGLYCIDYL ETHER)
輸送危険分類	9	9	9
Marine pollutant	III	III	III
環境的に有害な物質	環境的に有害な物質	海洋汚染物質に分類され ている。	環境的に有害な物質
使用者に対する特別な注意事項	次の項を参照: 2		
MARPOL 73/78 Annex II および IBC コードに準拠した バルク輸送	該当なし。		

セクション 15: 適用法令

特に当該物質または混合物に関する安全性、健康および環境についての規制/法律

Industrial Safety and Health Act (ISHA)	
通知対象物	記載されていません
表示対象物	記載されていません

改訂: 1.0 日付: 10 5 月 2017

以下に準拠 JIS Z 7253: 2012

www.vishayppg.com

有機溶剤。	記載されていません
作業環境負荷基準の管理濃度	記載されていません
毒物及び劇物取締法	記載されていません
化学物質の審査及び製造等の規則に関する法律	記載されていません
化学物質排出把握管理促進法	記載されていません
化学物質安全性評価	記載されていません

セクション 16: その他の情報

以下の項には改訂または新しい内容が含まれる: 改訂: 1.0 該当なし。

参考文献:

既存の安全データシート (SDS) と以下の分類・表示インベントリ Bisphenol A Diglycidyl Ether (CAS No. 25085-99-8)

参考文献:

1. "Bisphenol A Diglycidyl Ether". In TOXLINE®: Toxic Substances Control Act Test Submissions. ToxPlanet, a division of Timberlake Ventures, Inc. Cornelius, NC. 2017

この安全データシートは、日本工業規格 JIS Z 7252:2014 及び JIS Z 7253:2012 に盾で作成した。

注釈

LTEL: 長期暴露限界

STEL: 短時間暴露限界

JSOH: 日本産業衛生学会

危険有害性分類 / 分類コード:

Skin Irrit. 2; 皮膚腐食性/刺激性, カテゴリー2

Skin Sens. 1; 皮膚。感作性, オランダ 1

Eye Irrit. 2; 目。刺激性, カテゴリー2

Aquatic Chronic 2; 水生環境有害性, 慢性, オランダ 2

危険有害性情報

H315: 膚刺激性。

H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

H319: 強い眼刺激。

H411: 長期継続的影響により水生生物に毒性。

研修アドバイス: 検討事項は、より高度なレベルの予防が必要になるかどうか決定するため、作業手順に関わることや将来的な被爆の程度に影響を及ぼします。

免責事項

記載の情報もしくは他の方法で提供された情報は最善の知見に基づき、誠意を持って提供しております。使用者は、これを参考として自らの責任において個々の取り扱い等の実態に応じ、適切なる措置をお取り願います。Vishay Precision Group はいかなる用途に対しても製品の適合性に関して保証するものではありません。法による場合を除き、暗黙の保証や条件（法的なあるいはそうでない）はございません。Vishay Precision Group は、この情報に起因する損失または損害の責任を負うものではありません（欠陥製品が原因で死亡もしくは負傷し、そのことが証明された場合を除き）。特許、著作権および意匠のもと自由な使用権があるということではありません。